一般会計歳出　175億9355万円
特別・企業会計歳出　61億2800万円

12月定例会

令和3年度決算認定は、議員改選に伴い継続審査を行い12月定例会において意見を付け、5会計すべて認定しました。また、条例2件、補正予算3件、一部事務組合規約変更1件を可決、町監査委員、選挙管理委員の人事を全会一致で同意しました。

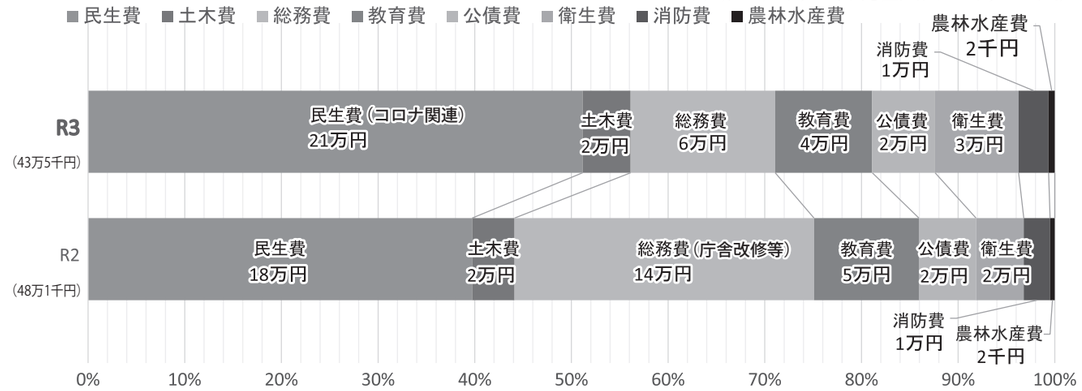
今後の行政運営に活かすよう1件の意見を付して認定	（認定第1号）町道10号線道路改良事業について
	早期の事業完了を目指し、事業期間を延長しないよう努めること。

会　計		歳入（収入）	歳出（支出）	差引額
一般会計		179 億 5745 万円	175 億 9355 万円	3 億 6390 万円
特別会計	国民健康保険	43 億 954 万円	42 億 6477 万円	4477 万円
	後期高齢者医療事業	3 億 2997 万円	3 億 2925 万円	72 万円
	土地区画整理事業	7 億 616 万円	5 億 6567 万円	1 億 4049 万円
下水道事業会計	収益的収入及び支出	6 億 100 万円	5 億 3998 万円	6102 万円
	資本的収入及び支出	2 億 5713 万円	4 億 2833 万円	－1 億 7120 万円
合　計		62 億 380 万円	61 億 2800 万円	7580 万円

（※1）収益的収入及び支出予算とは、料金収入などの営業活動から得られる収入を収益的収入といい、給与、減価償却、利息などの必要経費を収益的支出といいます。
（※2）資本的収入及び支出予算とは、固定資産を取得する財源である国庫補助金、負担金、企業債を資本的収入といい、建設改良費や企業債の元金償還金を資本的支出といいます。

令和3年度　一般会計
町民1人あたり約43万5千円使いました。

（令和4年3月31日現在人口　4万374人）



監査委員からの要望事項　（審査期間：7月1日～8月25日）
【代表監査委員】 稲福　清 【議会選出監査委員】 宮城清政

（審査意見書）

①事務処理等について
事務処理等については、はえばるエコセンター管理・運営業務委託料の支払月額に 200 円の差額があった。職員一丸の体制で事務処理等のミスを防ぐよう要望する。

②沖縄振興特別推進交付金事業（一括交付金）について
沖縄振興特別推進交付金事業は、引き続き制度の趣旨・目的を踏まえ、効果的な事業を実施されるよう要望する。

③保険給付費の抑制について
保険給付費は今後も増加していくことが予想される。なお、国民健康保険の財政基盤強化を図るよう前期高齢者財政調整制度に起因する赤字等については、財政支援措置を引き続き国・県に強く要望されたい。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業
2億9千2百万余　コロナ対策27事業を実施

◇地方創生臨時交付金の主な事業

ひとり親世帯に対する生活支援補助事業	2966万円	児童扶養手当受給世帯へ児童一人あたり３万円を支給
地域消費促進事業（はえるん商品券）	1億2467万円	町民１人あたり３千円分の商品券を配布
緊急事態宣言延長に伴う地域産業支援事業	4167万円	１事業所あたり 10 万円の支援金を支給
保育対策事業費補助金	1426万円	新型コロナウイルス感染症対策に要する経費に対する補助金

◇一般会計決算の概要
前年度に引き続き、令和3年度においても新型コロナウイルス感染症対策を講じることから子育て世帯への臨時給付や事業者への支援金の給付、消費促進を目的とした商品券配布などを含む一般会計となった。また、課題を抱える国民健康保険特別会計においては、赤字解消を図るため一般会計から 1億1,286万2 千円を繰り出した。保険給付費や保健事業費が増加傾向にある中、今後も事業の健全化が図られるよう注視する必要がある。

賛否分かれる

賛否が分かれた議案と討論のあった議案についてお知らせします。
また、全ての議案の賛否は町議会ホームページで公開しております。

（議決結果）

議　案	採決の結果	玉城陽平	大城重太	當眞嗣春	西銘多紀子	伊佐園恵	大城雅史	岡崎晋	大宜見洋文	石垣大志	大城勇太	新垣善之	金城憲治	照屋仁士	浦崎みゆき	知念富信	赤嶺奈津江
認定第１号　令和３年度南風原町一般会計歳入歳出決算認定について	可決	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	－

○：賛成　×：反対　退：退席　欠：欠席　－：赤嶺奈津江議員は議長のため採決に加わりません

認定第1号に対する討論

【反対討論】照屋 仁士
①今回のような補助金減額は、過去に例がない。
②納得いく根拠も示されず、金額もその根拠はあいまい。
③社会教育団体への姿勢として適切ではない。
今回の補助金カットは、私の「政治の原点を否定する」ことになる為、反対する。

【賛成討論】石垣 大志
今決算はコロナ禍に翻弄され、全町民が我慢に耐えながら努力を続けてきた。本町も緊急事態に対応し子育て世帯への給付金、事業者支援金、経済対策では商品券配布等を実施。社会情勢の変化に対応し町民生活に密着した、事業の実施かつ適正な予算執行が伺えた。

◇人事　全会一致で同意

《町代表監査委員》　任期：令和8年12月31日 翁長　朝常　（字津嘉山）	《町選挙管理委員》　任期：令和8年12月31日 赤嶺　松男　（字宮平）　知念　勤　（字大名） 仲里　博　（字大名）　仲村渠苗子　（字津嘉山）

第４回臨時会
11月29日

一般会計補正予算には地方創生臨時交付金を活用した町民一人当たり３千円の商品券を配布する「価格高騰生活者支援事業補助金」が審議され、全会一致で可決しました。

（第４回臨時会）